

学園へのご寄付・ご支援について

金蘭会学園は、令和7(2025)年に創立120周年を迎えました。一昨年9月より募集を開始いたしました「学園創設120周年記念寄付金」には、多くの皆さまからのご賛同とご協力を賜り、寄付金総額は4,707,001円(令和8(2026)年3月末現在)となりました。ここに、皆さまからの温かいご支援に深く感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。

お寄せいただきました寄付金は、佐藤記念講堂の維持・整備事業を主たる目的として、寄付者さまのご意思(使途区分)に基づき、千里金蘭大学、千里金蘭大学大学院、金蘭会高等学校・中学校、金蘭会保育園、スペシャルプログラムにおける奨学資金、研究支援、課外活動、施設・設備整備、図書購入、教材の充実

などに活用させていただきます。

創立120周年の節目に際し、これまで培ってまいりました基本理念を継承するとともに、現代社会の要請に応える教育の一層の充実と、生涯にわたる教育機関の実現をめざし、今後もさらなる発展に努めてまいります。

昨今の厳しい社会情勢の折柄、誠に恐縮に存じますが、引き続き、ご賛同を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

金蘭会学園 法人事務局 経理・財務部
TEL.06-6872-7703 FAX.06-6872-7707
本学園ホームページ「ご寄付のお願い」
[URL] <https://www.kinran.ac.jp/hojin/contribution/>

年間スケジュール(前期)

| 2026 | | |
|------|--|---|
| 4月 | 2日(木) 令和8(2026)年度入学式 3日(金) オリエンテーション 4日(土) オリエンテーション 6日(月) 前期授業開始 26日(日) オープンキャンパス 29日(水・祝) 祝日授業日 | |
| 5月 | 2日(土) 学園創立記念日 31日(日) オープンキャンパス | |
| 6月 | 21日(日) オープンキャンパス 7月 | 12日(日) オープンキャンパス 20日(月・祝) 祝日授業日 22日(水) 前期最終授業日 23日(木) 授業予備期間(7/23~29) 26日(日) オープンキャンパス 30日(木) 専門科目、保育、教職科目調整期間(7/30~8/3) |
| 8月 | 9日(日) オープンキャンパス 21日(金) 前期成績Web発表日(予定) 23日(日) 総合型選抜チャレンジAOI期 30日(日) オープンキャンパス | |
| 9月 | 11日(金) 保護者宛成績発送日(予定) 21日(月・祝) 後期授業開始 22日(火・祝) 祝日授業日 | |

※4月中旬現在の予定です。スケジュールが変更となった場合は、大学ホームページなどで適宜お知らせいたしますので、予めご了承くださいませようお願いします。



 千里金蘭大学
千里金蘭大学大学院

千里金蘭大学 総務課

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1

tel.06-6872-0673

発行/令和8(2026)年5月30日

大学web <https://www.kinran.ac.jp/>

公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>

受験生応援サイト <https://www.kinran.ac.jp/cheer/>

受験生応援ブログ <https://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

広報サークル Instagram [kinran.pr.circle](https://www.instagram.com/kinran.pr.circle)

編集後記

新緑がまぶしい季節となりました。新入生を迎えて1か月、キャンパスにも少しずつ落ち着いた日常が戻り、学生たちのいきいきとした様子が感じられます。

本号では、昨年度の取り組みや学内の様子をお届けしました。本学ならではの少人数の学びの中で、それぞれが自分らしく新学期的一步を踏み出していることを嬉しく思います。

5月は、日々の学びを大切に積み重ねていく時期です。教職員一同、学生一人ひとりの成長を、これからも温かく見守ってまいります。

 千里金蘭大学

Vol.31

2026.May

学報

挑戦と夢の実現



- 01 学長メッセージ
- 02-04 学部・学科 MESSAGE
- 05 研究科 MESSAGE
- 06 部局 MESSAGE
- 07 ゼミ探訪 vol.25
- 08 クラブ紹介
- 09 学位授与式報告 / 入学式報告
- 10 新任教員紹介
- 11 学園へのご寄付・ご支援について
年間スケジュール(前期)

学長メッセージ

千里金蘭大学 学長
福 嶋 教 偉



学校法人金蘭会学園は、男女が平等に教育の機会がなかった120年以上前に女性が『自ら学び、人に役立つ』ように勉学できる学校をめざして創立され、その想いは本学の建学の精神として受け継がれています。こうした理念のもと、本学は女性が社会で活躍できる栄養、教育、看護の3学部体制としており、大学院看護学研究科修士課程を設置しております。昨年度は、6名の大学院生が勤務しながら修士号を取得しました。

入学式でもお伝えしたように、皆さんには、どんな夢でも良いので、ぜひ夢を持ってほしいと思います。入学前から夢を持っている方は、本学でその夢を叶えるための知識、技術、そして心を養っていただきたいと思います。まだ明確な夢を持っていない方は、ぜひ多くの友だちを作り、教職員とも関わり合いながら、自らの夢をはっきりしたものにしてほしいと思います。夢を持ち、将来なりたいものになるために、必要な知識と技術を学び、勉学に勤んでください。

本学の3学部はすべて人に関わる職種であり、皆さんには自分の知識や技術を高めるとともに、「命の大切さ」を尊び、他者への優しさの心も培ってほしいと願っています。前進するあなたを、教職員一同は全力で応援します。

近年、徐々に人の多様性Diversityが認知されるようになった一方で、Diversityの認知と称して、単に会社、役員、議員、さらには大臣の女性採用率を増やす風潮が見受けられます。このことは、その女性大臣をお飾りの扱っているものであり、これこそ女性を差別していることだと思います。しかし、昨年高市早苗氏が、米国よりも早く日本初の女性首相になったことは、女性が自らの実力を認められて社会で重要な地位に就くような時代になる良い兆しではないかと考えますので、皆さんも自分なりに愉しくがんばってください。

また皆さんは、新型コロナウイルス感染症により中学校・高等学校において対面での授業が減り、共同で行うさまざまなイベントを享受できなかった世代でもあります。そのため、どうしても人との対話が不得意だったり、悩んだ時に他人と相談する機会が少なかったりしたのではないかと思います。ぜひ、大学生活の中で人との対話を増やすとともに、何かあれば遠慮なく、教職員に相談してください。ひとりで悩まないでください。もちろん、すべての悩みを私たちが解決できないかもしれませんが、悩みを人と相談することで、悩みの本質を理解することができ、解決する糸口を見つけることがあります。また、悩みを自分ひとりのものにせず、他人と共有することで、孤独感が減り、気持ちが楽になります。他人に相談されることに慣れていない学生には、勇気のいることかもしれませんが、ぜひ私たちに声をかけてください。

千里金蘭大学という学びのキャンパスを十分に活用し、希望に満ちた大学生活を満喫してください。そうなるように、私たちは全力で応援します。

千里金蘭大学後援会からのご挨拶

このたびは、新入生の皆さんならびに保護者の皆さま、千里金蘭大学へのご入学、誠におめでとうございます。在学生の保護者の皆さまにおかれましても、新たな学年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度もすべての保護者の皆さまにご入会いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

千里金蘭大学後援会は、学生の皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう、教育・研究環境の整備や課外活動の支援に取り組んでおります。これまでに、教室の机や椅子の更新、中庭へのテーブルやベンチの設置など、学内環境の整備および学生支援の充実に努めてまいりました。

社会情勢の変化にともない、学生を取り巻く環境も多様化しておりますが、本会は大学との連携を一層深め、学生一人ひとりの成長を支える取り組みを継続してまいります。

今後とも、学生が安心して実りある大学生活を送ることができる環境づくりに努めてまいりますので、保護者の皆さまには引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<https://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

令和8(2026)年4月1日

千里金蘭大学後援会 会長 上山 美保子

学部・学科 MESSAGE

栄養学部 栄養学科

学部長メッセージ

栄養学部長・栄養学科長
石川 秀明

ようこそ千里金蘭大学栄養学部へ。

新入生の皆さんおよび新入生の保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。在校生の保護者の皆さまにおかれましては、後援会および各種大学行事を通じて日頃の学修への多大なご支援に感謝するとともに、ご息女の今後のさらなる成長に向けて引き続きご協力をお願い申し上げます。

栄養学部では高度で専門的な知識と論理的な思考力を修得することに加えて、一般教養を身につけた賢明な人間力の育成をめざします。アドラーは、自分をありのままに受け入れる「自己受容」と他人を信頼する「他者信頼」、仲間に対して働きかける「他者貢献」を柱とする「共同体感覚」という価値観のもとに、主体性や独自性を保ち自身の行動は自分で決める「自己決定性」が自身の成長を促すと説いています。

千里金蘭大学栄養学部栄養学科の学生の皆さんが、ひとりで悩むことなく友人と共に学び成長していく、そのような大学生活を送れるよう教員一同サポートしていきます。

学生の活動実績

基礎ゼミ研修旅行で 和歌山の食を体験

1年生に開講されている基礎ゼミに関連した研修旅行で、和歌山県にある黒潮市場と和歌山城を訪れました。黒潮市場では、串本で陸揚げされたマグロの解体ショーを見学し、迫力ある様子を間近で見ることができました。また、和歌山城では和歌山の歴史や食文化について学ぶことができました。今回の研修を通して、和歌山の魅力を実際に感じることができ、貴重な学びの機会となりました。



大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオンでの 実践活動

栄養学部公衆栄養学研究室では、8月25日(月)に大阪・関西万博会場内の大阪ヘルスケアパビリオンにおける食イベント「食のDEMO LIVE」(大阪府主催)に、2・3年実践ゼミの学生が参加しました。イベントでは「おおさかEXPOヘルシーメニュー」の紹介や試食が展開され、学生たちは大阪府の保健所管理栄養士の方々とともに来場者への試食提供やアンケート収集を担当しました。多くの来場者と接し、公衆栄養活動を実践体験することができました。



100円食堂で 友だちの輪をつくる

3年目を迎えた「100円食堂」は、栄養学部の3年生が命名し、令和7(2025)年度は大学の調理室にて前期7回・後期1回実施しました。その名の通り、参加費はわずか100円で、1年生から4年生まで学年を問わず誰でも参加でき、5限終了後にみんなで食事を楽しむ会です。買い出しから調理、片付けまで、教員も交えて和気あいあいと活動しています。情報交換の場としても定着しており、「簡単に作れるレシピ」の紹介など、温かな雰囲気でも盛り上がっています。



教育学部 教育学科

学部長メッセージ

教育学部長・教育学科長
小野 淳

この4月より
「映像AIデザインコース」を新設。

この4月より、教育学部の中に新しいコース「映像AIデザインコース」を開設いたしました。教育学部では保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の3つの資格・免許を取得できますが、この「映像AIデザインコース」では、資格・免許取得を前提とせず、こども・教育について勉強する中で、画像・音楽・AI・デザインなどを学び、映像などのコンテンツ作成のスキルを身につけることができます。もちろん、従来の保・幼・小の資格・免許を取得することが可能ですので、AIなどのスキルを身につけた小学校の先生、保育士として活躍することにも繋がります。私たちが生活する環境はめまぐるしく、また多様に変わります。効率的に、またインパクトのある教育コンテンツを作成できる知識・能力を身につけることができるよう、皆さんの学修内容を準備してまいります。

学生の活動実績

金蘭おやこクラブが 20周年を迎えました

金蘭おやこクラブでは、地域の親子の方に参加いただき、遊びの場の提供と参加者や保育者との交流を行う子育て支援を行っています。その中に1年生は授業として参加し、子ども・保護者との関わりや、子どもの1年間の成長について体験的に学びます。従来は授業期間のみの活動でしたが、令和8(2026)年度より夏休み・春休みにも実施することになりました。地域の親子の方にも大変好評をいただいております。今年で20周年を迎えます。



吹田市メイシアター×千里金蘭大学共同事業 「ファミリーミュージカル」

千里金蘭大学と吹田市民劇場メイシアターとの共同事業である「ファミリーミュージカル」が、3月14日・15日に開催されました。今回の演目は『シタタメ少女の英雄譚』で、物語を書くことに苦戦する女の子、おばあちゃんが大好きな学生、そして物語の中の登場人物。3人の女性の物語が交錯するファンタジー作品です。教育学部の学生4名が参加し、脚本・演出家・歌唱指導・ダンスの先生方をはじめ、一流のスタッフ・キャストの皆さまから刺激を受けながら、最高のステージをお届けできるよう、連日稽古に励んでいました。



リトミック指導資格 取得講座の開講

リトミックは、音楽と触れ合いながら、子どもたちが持っている身体的、感覚的、知的な能力の発達を促す教育です。リトミック指導資格を取得すると、リトミックの理論や子どもへの指導法を身につけたリトミックの指導者として認定されます。令和7(2025)年度より、この資格を大学でも取得することが可能となり、初年度23名の学生が取得しました。音楽を通して保育・教育の実践力がより高まればと考え、今後も積極的に活用してほしいと思っています。



看護学部 看護学科

学部長メッセージ

看護学部長
笹本 美佐

知識や技術だけではなく、
豊かな人間力を身につけてください。

新入生の皆さんの門出、そして在校生の皆さんの新年度にエールを送るが如く、満開の桜が咲き誇っています。新入生の皆さんにおかれましては、本学で看護を学ぶ道を決意いただき、教職員一同、心より歓迎いたします。

看護を学ぶ道は決して平坦ではありません。知識、技術を身につけるだけでなく、本学では「こころ看護」の実践を掲げています。対象者とその家族の心に寄り添うには、より豊かな人間力も必要になります。特に人間力は日々の生活の中で培われます。大学の中だけでなく、社会で学ぶことも多くなります。いろんなことにチャレンジしてください。もしかすると失敗するかもしれませんが、しかし、失敗から学びが得られるように教員が傍らにいます。安心して、新しい一歩を踏み出してください。切磋琢磨しながら人の役に立てる人に成長しましょう。

学生の活動実績

高齢者のスマートフォン講座に ボランティアとして参加

高齢者のICT支援(情報弱者支援)、社会参加促進、多世代交流などを目的としたスマートフォン講座に学生がボランティアとして参加しました。活動を通じ、対象者の身体的特徴を踏まえたコミュニケーションや、言葉のジェネレーションギャップなどを学ぶ貴重な機会となりました。高齢者の方の「ありがとう」の言葉に、学生たちは大きな達成感と社会貢献への喜びを感じ、笑顔にあふれていました。



アメリカ心臓協会(AHA)認定の BLSプロバイダーコースを開催

千里金蘭大学看護学部では、アメリカ心臓協会(AHA)認定のBLSプロバイダーコースを開催しています。学生は、乳児から成人までの幅広い対象に対応できる一次救命処置について、心停止の早期認識、質の高い胸骨圧迫、AEDの使用、気道確保や人工呼吸などを実践的に学びました。これらの学びを通して、救急場面において適切に対応できる知識と技術を身につけ、地域の安心・安全に貢献できる力を養っています。



AYA世代の生涯学習で ボランティア活動を行いました

「医療的ケアを必要とする重度重複障がい者や小児期に発症した慢性疾患を有するAYA世代の生涯学習(オープンカレッジ)ーみらい未来ー」を、千里金蘭大学、大阪教育大学、大阪信愛学院大学、藍野大学、大阪市立総合医療センターの実行委員が運営しています。本学看護学部の学生も、会場設営・案内のほか、受講生の受講サポート、放課後活動などのボランティア活動を行いました。



看護学研究科

研究科長メッセージ

看護学研究科長
藤田 俱子

さまざまな疑問を深く研究することで、
今後の看護実践に役立ててください。

大学院生の皆さん、新しい年度を迎え、さらなる研究への取り組みに対し意欲的になっておられることと思います。臨床の疑問を研究という形で答えを見出そうとする活動は簡単ではありませんが、意義のある活動です。最後までがんばって取り組んでいただきたいと思っています。大学院で学ぶことで事実を積み上げ、根拠を示し、多面的に俯瞰して現象をとらえる力がつき、これからの皆さんの看護実践の力になっていくと思います。実践で活かし、新たな疑問を得て研究を進めていく、研究することで臨床における実践の質を向上させる実践者である研究者に育っていかれることを楽しみにしています。研究科教員一同で皆さんを応援しています。

学生の活動実績

学術集会への参加を通して 多くの刺激を受けました

9月にはM2の大学院生も学術集会に参加しました。関連分野の新たな知見を得る貴重な機会となり、研究テーマにも関連した発表を真剣に聴講しました。大学の中だけでなく、こうして学外でのさまざまな研究発表の場に参加することも大学院生としての学びにつながります。ぜひ今年もさまざまな学術集会への参加を試みてください。



院生室からブルーインパルスの 演武を撮影しました

大阪・関西万博の目玉となったブルーインパルスの演武を院生室の見晴らしのいい窓から撮影することができました。当日はさわやかに晴れ渡り、青い空とブルーインパルスの描く白いスモークが映えて、とてもはっきりと見ることができました。万博記念公園が近くにあり、かつ標高の高いところに立地する本学の強みである見晴らしのいい院生室で大学院生と教員が和気あいあいと見学しました。



部局 MESSAGE

学修・キャリア総合支援センター

幅広い情報提供で就職・キャリア形成をサポート

小学生を対象とした「将来就きたい職業」に関する調査では、プロスポーツ選手や店員(花屋・パン屋など)が上位になっていますが、これらは、子どもたちが身近に知っている数少ない職業から選んだ結果だとも言えます。実際の就職を考えるにあたっては、世の中のさまざまな職業や資格などの情報を収集したうえで、自らの興味・関心や適性に合致した道を選択することが重要です。センターでは、「就職・進学LIBRARY」で進路に係るさまざまな情報をきめ細かく提供するとともに個別相談にも対応し、就職・キャリア形成をサポートします。



付属図書館

国家試験・採用試験対策本コーナーのご紹介

2階閲覧室にある国家試験・採用試験対策本コーナーには、毎年発刊される国家試験の問題集や対策本の最新版をまとめて並べています。

最新版以外のバックナンバーは3階閲覧室にありますので、過去の問題集や対策本にチャレンジしてみたい方はご利用ください。

この対策本コーナーの図書は、貸出用と館内用があり、学外での勉強、学内での勉強、どちらにも利用してもらえるようにしています。館内用は背表紙の赤いシールが目印です。図書館は皆さんの学びを応援しています。ぜひご利用ください。



教学センター

学内ポータルサイトを刷新 今後もわかりやすい情報を随時、発信

令和8(2026)年度より、学内ポータルサイト(UNIVERSAL PASSPORT)を刷新しました。学生の利便性向上を目的に、より利用しやすい環境整備を進めています。今後は、教育・学生支援におけるDX化を一層推進し、情報提供や各種案内を円滑に行える体制づくりを進めます。また、保護者向けの閲覧環境についても整備を進め、必要な情報をいつでも確認できる体制の構築を推進します。あわせて、学生生活や学修に関する情報を分かりやすく発信し、利便性向上につなげていきます。



研究推進・社会連携センター

大学と社会を繋ぐことを役割として、 新しい活動をご案内いたします

研究推進・社会連携センターは、研究活動のサポートと「大学と社会を結ぶ窓口」としての業務を行っています。

3月には、大阪マラソンの医事・救護ボランティアに看護学部の学生8名が参加し、大阪市役所内の7km救護所にてランナーのサポートをしました。

4月からは、今年度の「きんらん保健室ひだまり」活動も始まり、3学部の教員と学生ボランティアで、地域の方々の健康をサポートしています。

このような地域のボランティア募集情報を随時ご案内しますので、ぜひ参加してみてください。



アドミッションセンター

新しく生まれ変わる広報サークル、活動スタート

今年度、本学の広報サークルが新体制となり、より多くの皆さんに大学の魅力を発信するためにリニューアルしました。

これまでの広報活動に加え、SNSでの情報発信やイベント、学生目線での大学紹介など、さまざまな企画に挑戦していきます。

新しい広報サークルは「学生のリアルな声を届ける」をテーマに、キャンパスで活躍する学生や研究、行事の様子を発信していく予定です。

「大学の魅力をもっと多くの人に知ってもらえるよう、積極的に活動していきたい」と意気込みをもって活動いたしますので、今後の広報サークルの活躍に、ぜひご期待ください。





松本 宙 講師

悩み抜き、 新たな発想をよりよい看護へ。

小児看護ゼミは、全体ゼミを中心に、アットホームな雰囲気の中で行っています。全体ゼミでは、学生同士が進捗を共有し、意見交換や助言を行いながら学びを深めています。少人数ならではの温かい雰囲気の中で、学生同士が励まし合い、悩みを共有しながら主体的に取り組んでいます。そのような過程を通して一人ひとりの成長が感じられることは、教員にとっても大きな喜びとなっています。また、教員との距離が近く、気軽に相談できる環境も本ゼミの特徴です。

本ゼミで扱う看護研究のテーマは、小児慢性疾患をもつ子どもやその家族への支援、きょうだい児への関わり、プレパレーションなど多岐にわたります。近年は、実習で経験した場面をきっかけに、医療的ケアを必要とする子どもへの看護や支援に関心をもつ学生も増えています。学生は、自身の実習体験や日常で抱いた疑問や関心をもとに文献を検索し、何が明らかにされているのか、どこに課題があるのかを整理していきます。そして、「自分は何を明らかにしたいのか」という問いと向き合いながら、研究テーマを焦点化していきます。

看護研究のプロセスは、学問的な知識や技術だけでなく、主体性や実行力、課題発見力、計画力といった力を養います。また、意見交換や発表を通して、自分の考えを伝える力や他者の意見を理解する力も育まれ、臨床で求められる実践力にもつながります。試行錯誤を重ねながら研究を進める中で、学生は成長を実感し、達成感と自信を得ていきます。本ゼミは、小児看護に関心をもつ学生が、自らの問いを大切にしながら深く学び、将来の看護実践につながる力を養うことのできる場となっています。



student's message

ゼミ生メッセージ

私は脱毛など、外見の変化をとまなう治療を受ける子どもの「おしゃべり」について研究しました。

教員やゼミメンバーと先行研究の抄読を行い、子どもの自分の身体への認識は発達段階や大人からの声かけによって異なることを学びました。特に小児患者では外見の変化によって復学などに不安を感じることもあり、有効的なピアランスケアによって前向きな気持ちになれるのではないかと考えました。この学びを活かし、患者さんが直面する悩みに対して、具体的なケアを提案できる看護職者をめざしていきます。

杉浦 芽依 さん

私は小児看護学研究で「重度心身障害児を同胞に持つきょうだい児の視点による両親の育児・介護参加と役割分担に対する認識」についての研究を行いました。

本研究を通して、重度心身障害児をもつ家庭において、きょうだい児がどのように両親の役割分担や育児・介護参加を認識しているのかを理解することは、家族全体を支える看護につながり、今後の家族支援を検討する上で重要なことだと学びました。

岡本 結萌 さん

CLUB Activities

クラブ紹介

Let's sing club

Let's sing clubでは、音楽を楽しみながら学年を越えた交流を深めることを大切に活動しています。主な活動として、大学祭や七夕祭、クリスマス会などの学内イベントで歌を披露しています。歌唱だけでなく、ギターによる弾き語りや、さまざまな楽器を用いた合奏も行っており、それぞれの個性を活かしながら音楽に親しんでいます。初心者から経験者まで、音楽が好きな学生が集い、互いに刺激を受けながら楽しく活動しています。これからも仲間とともに、音楽の楽しさを広げていきたいと考えています。



大学祭実行委員

大学祭実行委員会では、新入生歓迎会、七夕祭、大学祭、クリスマス会など、年間を通してさまざまな学内イベントの企画・運営を行っています。学生が主体となってアイデアを出し合い、準備から当日の運営まで協力して取り組むことで、来場者楽しんでいただける行事づくりをめざしています。学年や学科を越えた交流を通じて多くの仲間ができることに加え、ひとつのイベントを作り上げたときの達成感も大きな魅力です。これからも学生の力で大学を盛り上げていきます。





令和7(2025)年度 学位授与式報告

3月13日(金)に佐藤記念講堂において、令和7(2025)年度学位授与式が執り行われました。はじめに、看護学研究科6名、食物栄養学科41名、児童教育学科35名、看護学科95名、計177名の修了生・卒業生を代表し、研究科および各学科の総代が登壇し、福馬学長より学位記が授与されました。続いて、4年間を通じて最も成績優秀な学生に授与される「商議員賞」、ならびに学業に加えスポーツや社会貢献活動において優れた実績を取った学生に授与される「佐藤賞」の授与が行われました。関係団体各賞・記念品の授与は右記のとおりです。福馬学長からの式辞、大橋理事長からの祝辞に続いて、門出の誓いとして、各学科の代表から、4年間学生生活を支えていただいた方々への感謝の気持ちと今後の抱負が述べられました。卒業生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。皆さんの今後のご活躍を教職員一同祈念いたします。

| 学 科 | 看護学研究科 | 食物栄養学科 | 児童教育学科 | 看護学科 |
|----------|-----------|-------------------------------|------------------------------|---------------------------|
| 総代・商議員賞 | 植原 栄利子 さん | 竹井 也実 さん | 吉村 美佑 さん | 揚野 菜津子 さん |
| 佐藤賞 | — | 小田原 由賀里 さん | 中村 佳音 さん | 久保 妃真莉 さん |
| 関係団体各賞授与 | — | 近藤 結菜 さん (全国栄養士養成施設協会) | 平岡 采花 さん (全国保育士養成協議会 会長賞) | 清水 星良 さん (日本私立看護系大学協会) |
| | | 竹内 みすゞ さん (日本フードスペシャリスト協会) | | 新谷 心 さん (大阪府看護協会 会長賞) |
| 門出の誓い | 植原 栄利子 さん | 伊東 愛望 さん | 栗野 七緒 さん | 竹田 絢海 さん |



令和8(2026)年度 入学式報告

4月2日(木)に佐藤記念講堂において、令和8(2026)年度入学式が執り行われました。栄養学部栄養学科38名、教育学部教育学科39名、看護学部看護学部114名、計191名の新生(編入生含む)が希望を胸に学生生活の新たな第一歩を踏み出しました。厳粛な雰囲気の中で式が挙行され、栄養学部栄養学科・相馬美結さん、教育学部教育学科・前原彩那さん、看護学部看護学科・大林実鈴さんによる新生代表宣誓が行われました。続いて福馬学長式辞、大橋理事長祝辞があり、新生たちは改めて気持ちを引き締めている様子でした。当日は、前日までの雨も上がり、快晴のもとでの式典となりました。千里金蘭大学に入学された新生の皆さん、ならびにご家族の皆さまに心よりお祝い申し上げます。



新任教員 紹介

- ① 学位
- ② 研究テーマ(専門分野)
- ③ 千里金蘭大学での主な担当科目
- ④ 千里金蘭大学での抱負など

教育学部 教育学科



畑 祥雄 教授

- ① 学士(法学)
- ② 写真・映像
- ③ 持続可能社会論
- ④ 感性は生まれつきではありません、専門知識の上にはひらめくものです。



澤田 知子 教授

- ① 学士(芸術学)
- ② 芸術学
- ③ 持続可能社会論
- ④ 日本唯一の文系AIコースと一緒に学びAI時代を強くしなやかに楽しく進んで行きましょう!

看護学部 看護学科



山口 曜子 教授

- ① 博士(看護学)
- ② 慢性疾患看護・生活支援
- ③ 慢性看護学援助論演習
- ④ 実践力育成に貢献します。



矢野 朋子 教授

- ① 博士(保健学)
- ② 高齢者のフレイル・介護予防
- ③ 公衆衛生看護活動論
- ④ 専門知識を深め、多様な仲間と協働し成長できる大学生活を築いてください。



田中 祐子 准教授

- ① 博士(保健学)
- ② 在住外国人児童・生徒の健康支援、思春期の健康支援
- ③ 学校保健
- ④ 自然を守り、学生とともに学び、社会貢献する。



甲斐 舞子 助教

- ① 修士(看護学)
- ② 家族看護学、小児看護学、看護教育学
- ③ 基礎看護技術演習
- ④ 看護の対象となる方へのより良い看護とは何かを、一緒に考え創造していきましょう。



田村 秀子 助教

- ① 修士(看護学)
- ② 母性・助産学
- ③ 助産診断技術学Ⅲ
- ④ 家族の喜び・悲しみに寄り添う母性・助産と一緒に学びましょう。



濱浦 弘美 助教

- ① 修士(看護学)
- ② 発達障害のこどもとその親支援
- ③ 公衆衛生看護活動論Ⅲ
- ④ 地域で生活しているすべての人が健康で過ごせるような仕組みづくり。



北島 朋子 助教

- ① 助教(看護学)
- ② 精神看護学 セルフケア理論
- ③ 精神看護学実習
- ④ 学生の皆さんと共に看護の広さと深さを楽しみながら学んでいきたいです。



西山 直毅 助教

- ① 修士(看護学)
- ② 精神看護学
- ③ 精神看護援助論演習
- ④ 伴走するという姿勢を大事にし、学生の皆さんと一緒に学んでいきたいと思っています。